

令和6年第2回
福岡地区水道企業団議会定例会
決算等特別委員会会議録

(令和6年8月27日開催・議案審査分)

福岡地区水道企業団議会

質疑・意見	答弁
<p>○ 予算では、電気料金の高騰を見込んでいたが、見込みよりも安く済んだとの説明があった。電気料金の高騰は、一般家庭であれば国からの補助があって料金を抑えられたことがあったが、企業団ではどうであったか。</p> <p>○ 企業団では、令和5年12月に地球温暖化防止の実行計画を策定し、その中で、再生可能エネルギー由来電力の調達を進めていくとあったが、その進捗はどうか。</p> <p>○ 再エネ由来電力への切り替えは福岡市役所では色んな局が進めており、全消費電力の50%近くまでもってきているところもある。企業団でもしっかり進めてほしい。</p> <p>○ 浸透圧発電については、今年度まで建設を進めて、令和7年度から稼働すると聞いているが、進捗状況はどうか。</p>	<p>△ 電気料金に上乘せされる「燃料費等調整費」が、令和4年度後半から高騰して令和5年2月には8円/kwhまで上昇した。それが令和5年度予算策定期間だったので、予算では、特に高圧では高めに7.5円/kwhと設定していた。実際は、令和5年度当初から低下していき、また、電気料金を下げる国の措置もあり、徐々に下がり、0.7円/kwhなど1円/kwhを切るほどまで落ちた。それにより、予算より決算では少なく済んだ状況である。</p> <p>また、海水淡水化施設において、湯水対応で11月からのフル生産を見込み、予算の増額補正を行ったが、筑後川の状況を踏まえ、フル生産の開始が12月となったことから、動力費が見込みほどかからなかった。</p> <p>△ いわゆる再エネ由来電力の調達は、地球温暖化対策推進委員会の中で課題や今後の取組み等を検討している。</p> <p>△ 当企業団は、地球温暖化対策へ貢献するために、令和5年度より浸透圧発電の実用化に取り組んでいる。令和6年3月に着工し、これまで、設備を収納する建築物の基礎工事を完成させている。現在は膜やポンプなどの設備工事に着手している</p>

質疑・意見	答弁
<p>○ 期待しているので、宜しく願いしたい。</p> <p>○ 企業団では、太陽光発電などの導入を検討していると思うが、新たな手法もしっかり検討していただきたい。例えば、福岡市水道局では、那珂川市の別所接合井のマイクロ水力発電などの事例がある。小規模かもしれないが、積み重ねが大事である。設置できる可能性があれば進めてほしい。また、ペロブスカイト太陽電池が話題で注目されているが、これは軽量化された薄い膜で発電できるので、設置できる可能性があれば検討してほしい。</p>	<p>△ 企業団では、地球温暖化対策実行計画を策定し、地球温暖化の抑制に寄与する取り組みを進めている。再生可能エネルギーについても、現在、太陽光発電の導入を検討しているが、提案いただいたことを踏まえて検討を進めていきたい。</p>